

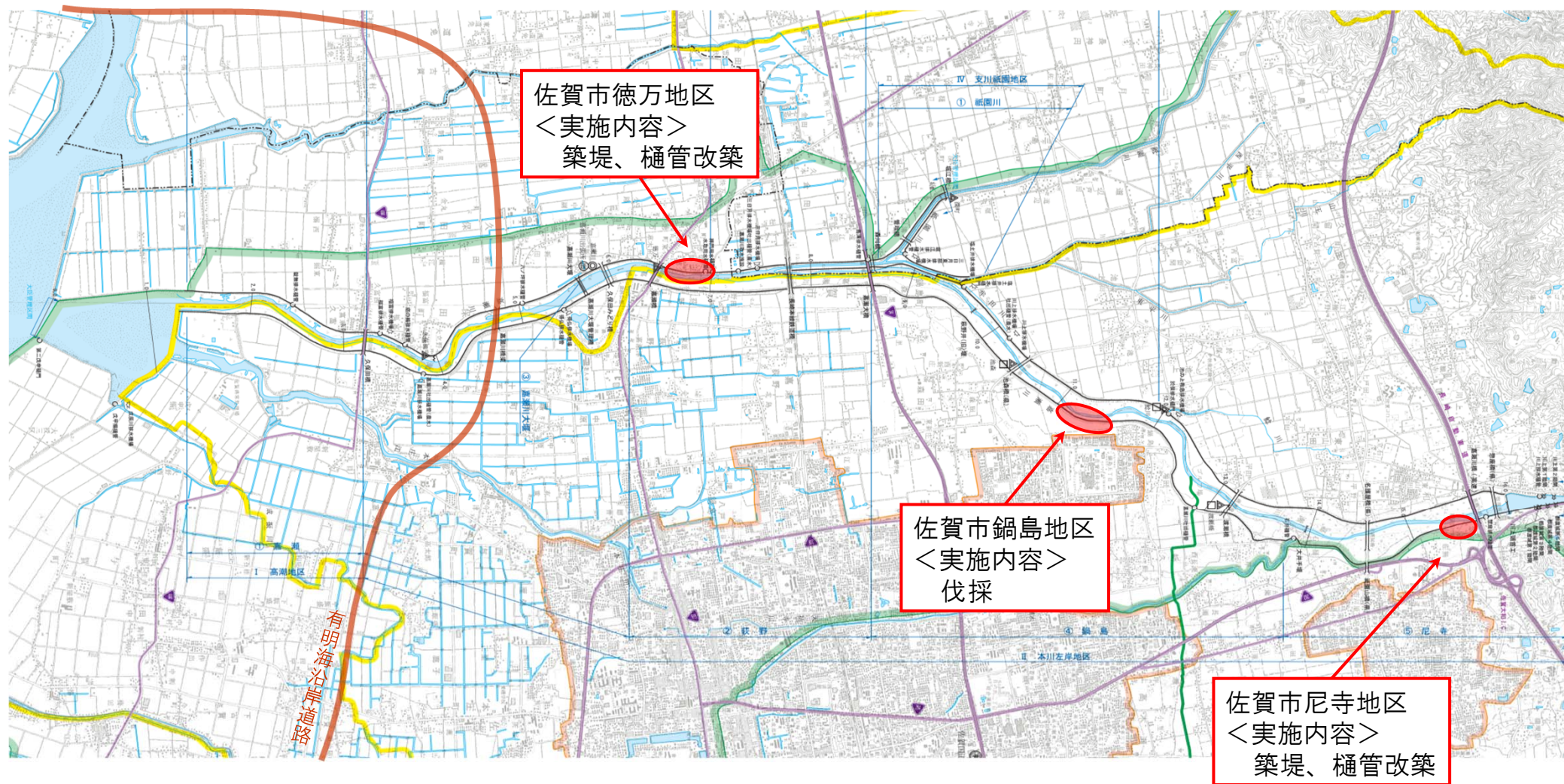
平成３０年度及び令和元年度事業内容

（嘉瀬川、六角川、松浦川）

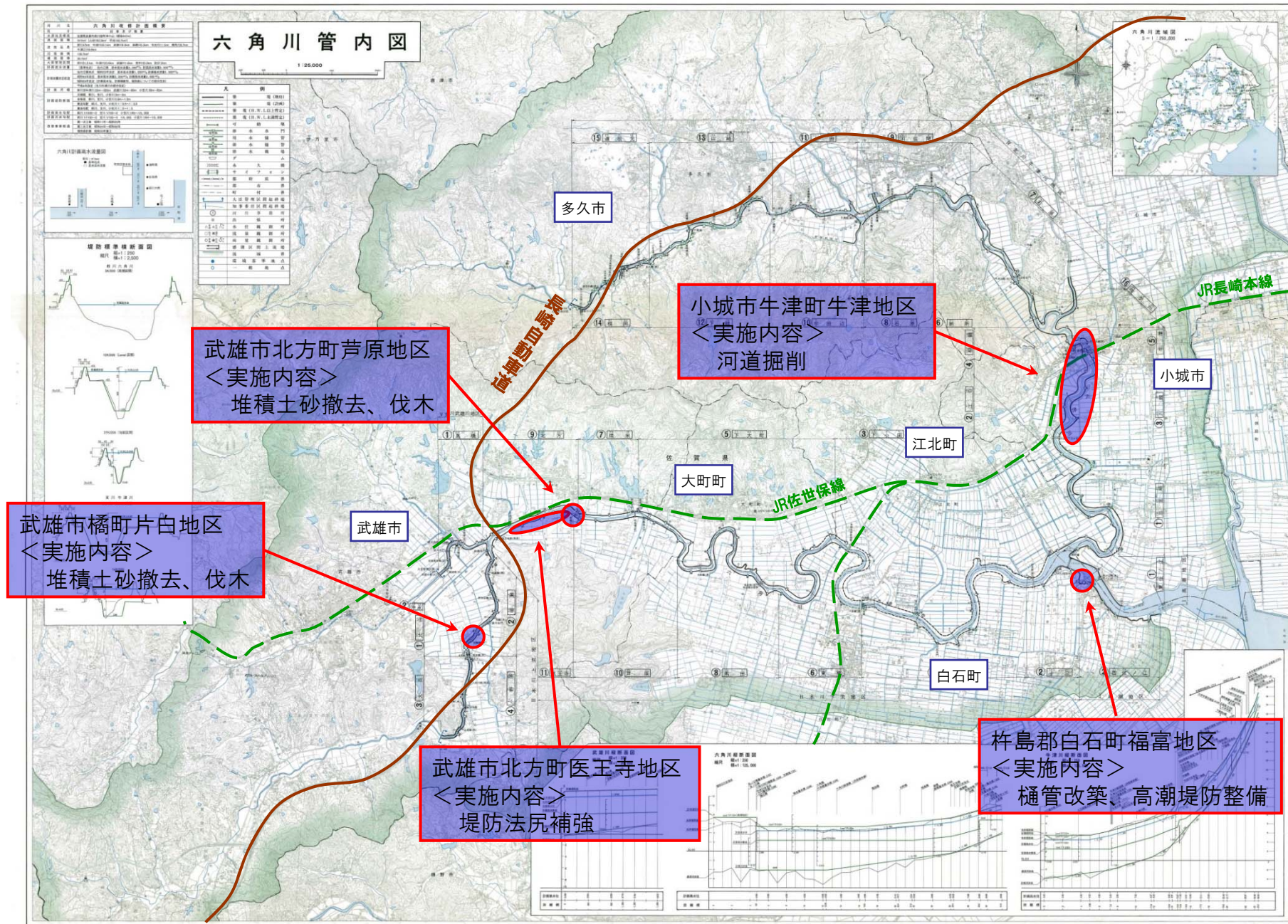
令和元年９月１３日



工事実施状況(嘉瀬川水系)平成31年度(令和元年度)予算



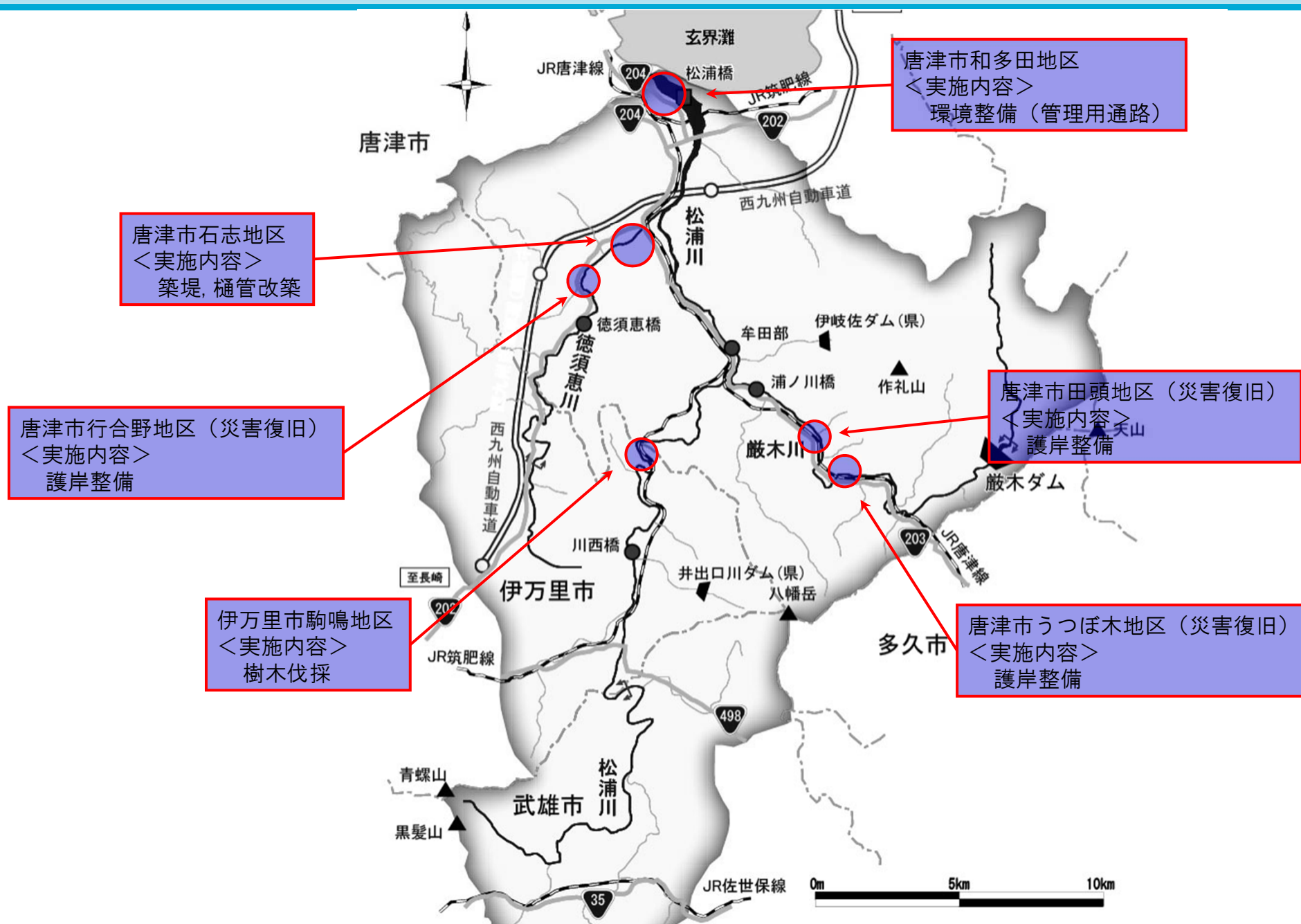
工事実施状況(六角川水系)平成30年度予算



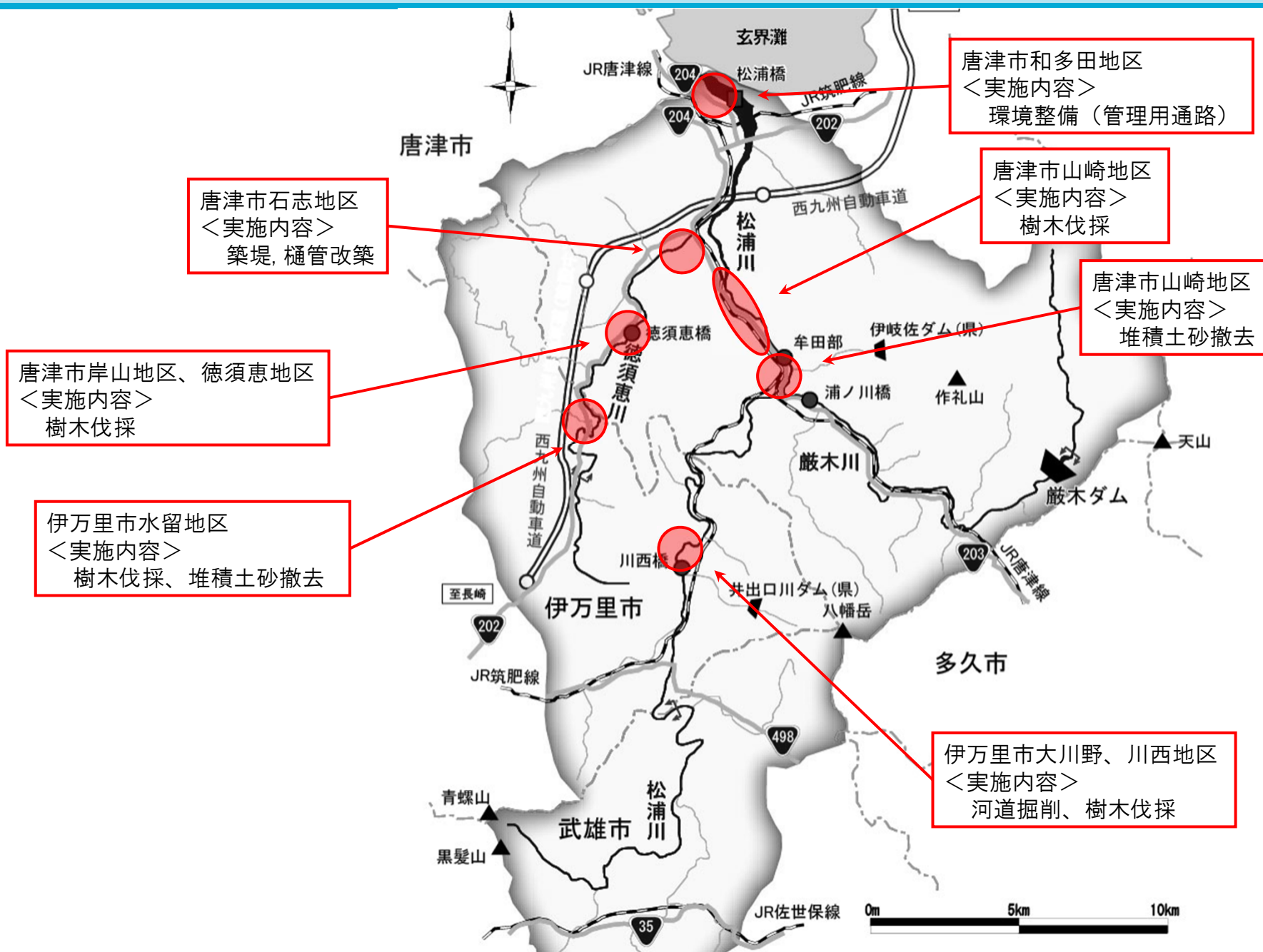
九州地方整備局
武雄河川事務所



工事実施状況(松浦川水系)平成30年度予算



工事実施状況(松浦川水系)平成31年度(令和元年度)予算



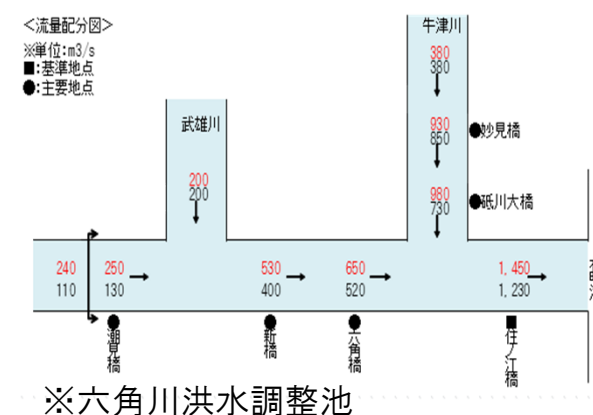
■昭和41年に工事实施基本計画策定。工事实施基本計画において、住ノ江橋地点で基本となる洪水の流量（基本高水のピーク流量）の2,200m³/sを洪水調節施設で200m³/s低減し、河道を流れる流量（計画高水流量）を2,000m³/sとしていました。なお、六角川本川の潮見橋では、六角川洪水調整池付近で計画されていた永野ダムで洪水を貯留して、河道を流れる流量（計画高水流量）を200m³/sとしていました。この計画を基に、昭和55年、平成2年の災害を踏まえた激特事業により、河川整備を進めてきました。

■その後、平成9年の河川法改正により、河川の基本計画を位置づける「河川整備基本方針」を平成21年に策定し、「河川整備計画」を平成24年に策定しました。

六角川洪水調整池は下流域の洪水被害を軽減する重要な施設として、河川整備基本方針、河川整備計画に位置づけられております。

河川整備計画

計画規模 : 1/30
河川整備計画の目標流量 : 1,450m³/s
洪水調節施設の低減流量 : 220m³/s
河道の配分流量 : 1,230m³/s

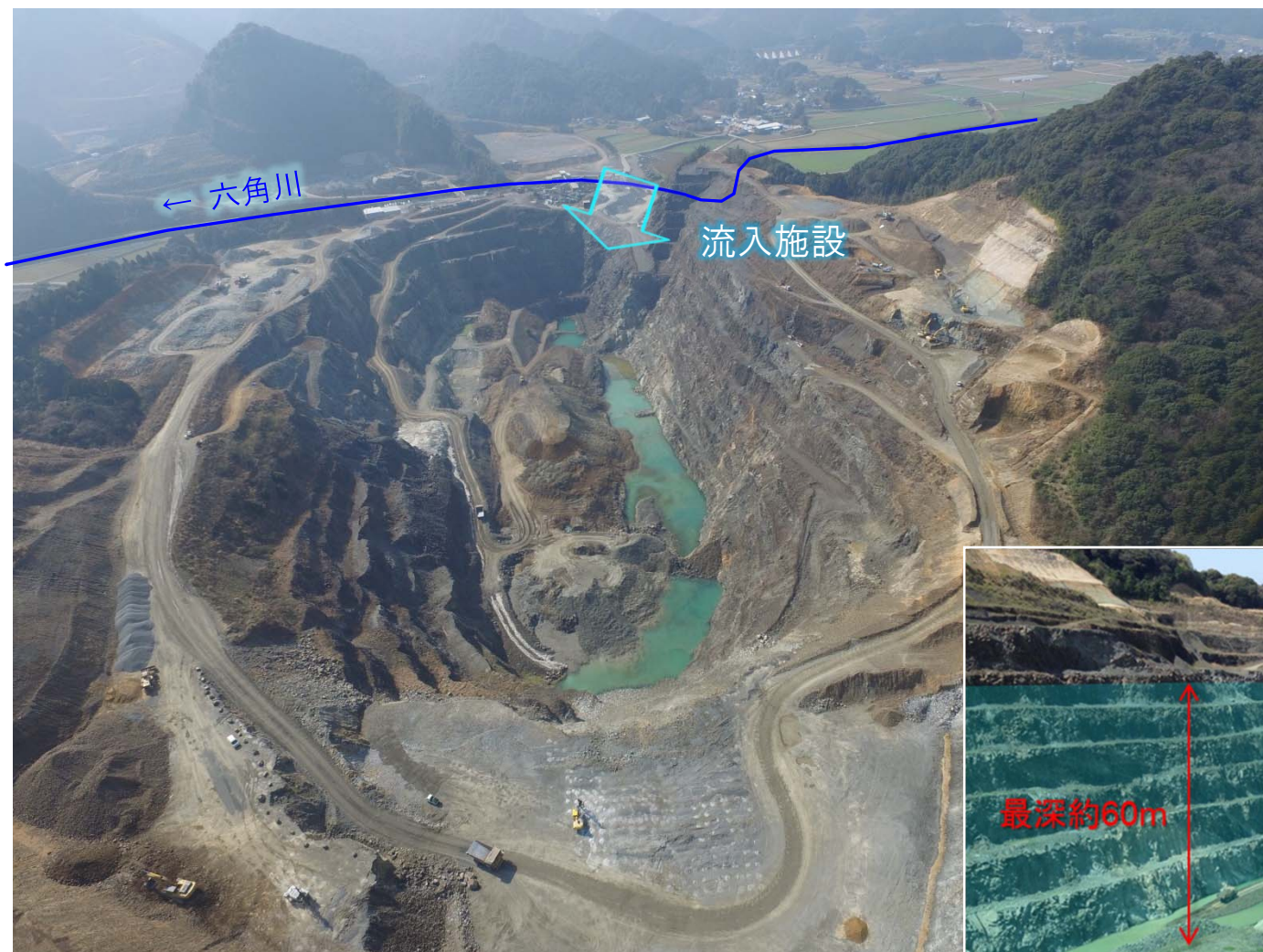


六角川洪水調整池事業に着手

■六角川洪水調整池の整備を行うことにより、河道の流量低減を図り、六角川の治水安全度が向上するとともに、既存の排水機場の効果が最大限に発現されることから、内水被害の軽減も期待できる。



六角川洪水調整池の現在の状況



1. 六角川洪水調整池の全体像は写真のようになります。
2. 六角川洪水調整池の整備は、
 - ①河道の付け替え
 - ②流入施設の整備
 - ③調整池の整備の三段階で行います。

令和元年（2019年）4月1日、事業区間が直轄編入され、事業に着手しました。

令和元年度は、河道の付け替えに関する用地補償を行っています。



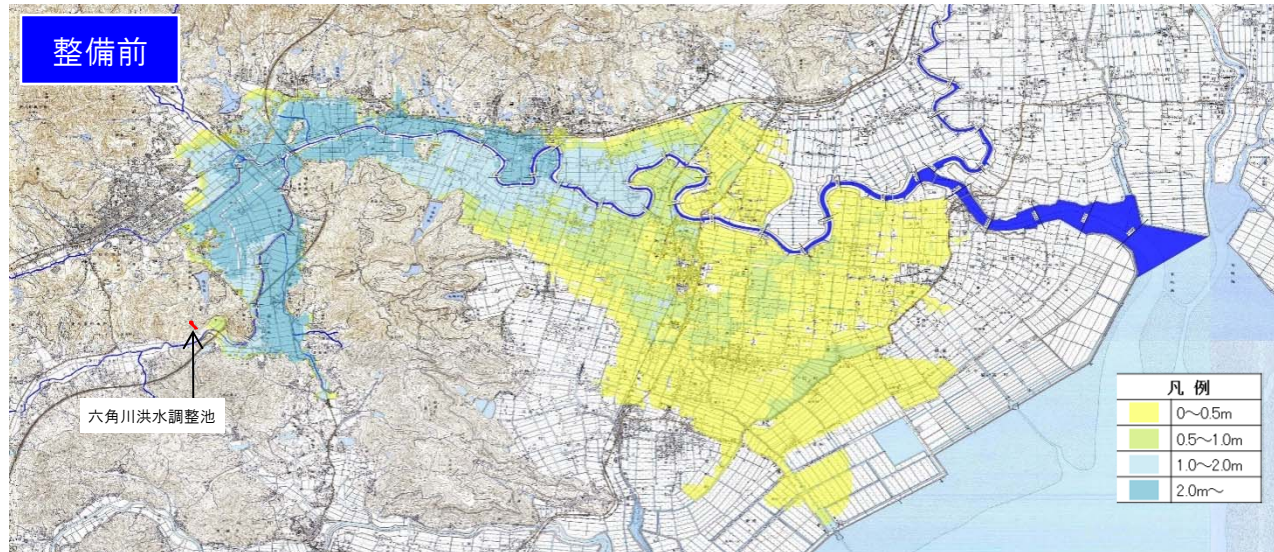
※水を貯める部分については、現在も採石が行われているため、今後形状が変わります。

六角川洪水調整池の効果

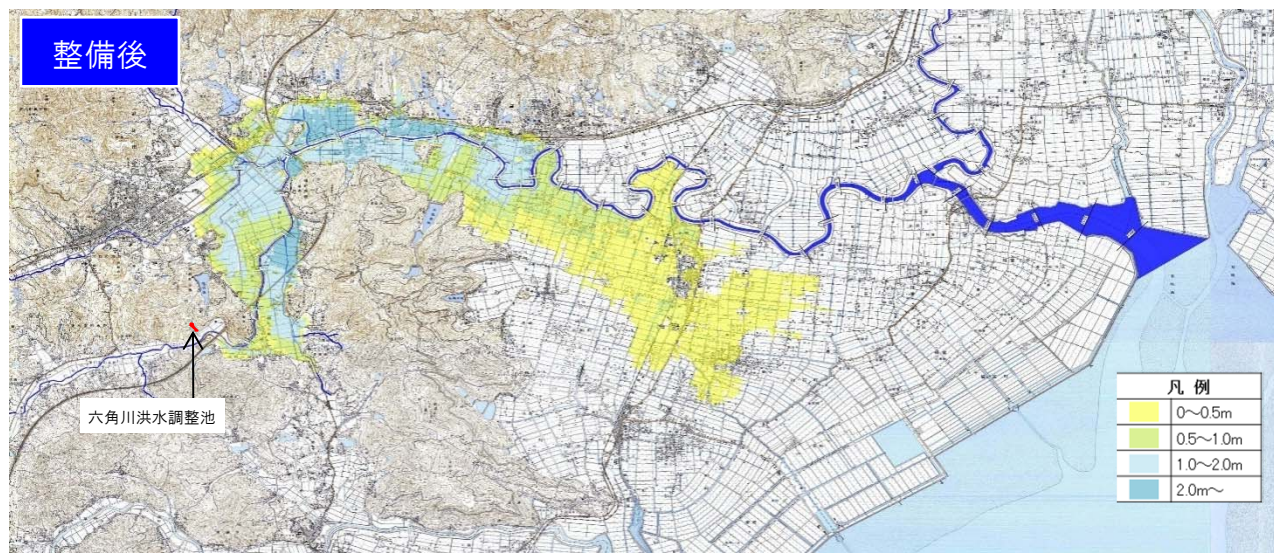
■平成2年7月実績洪水に対して、堤防の決壊氾濫（外水氾濫）による被害が軽減される。

調整池による被害軽減効果

被害諸量		事業 実施前	事業 実施後
浸水面積 (ha)		5,586	2,645
浸水 世帯数 (世帯)	床下浸水	3,117	1,259
	床上浸水	2,819	1,822
	計	5,936	3,081
被害額 (百万円)		147,219	48,055



▲ 最大湛水深図（現況：W=1/100）



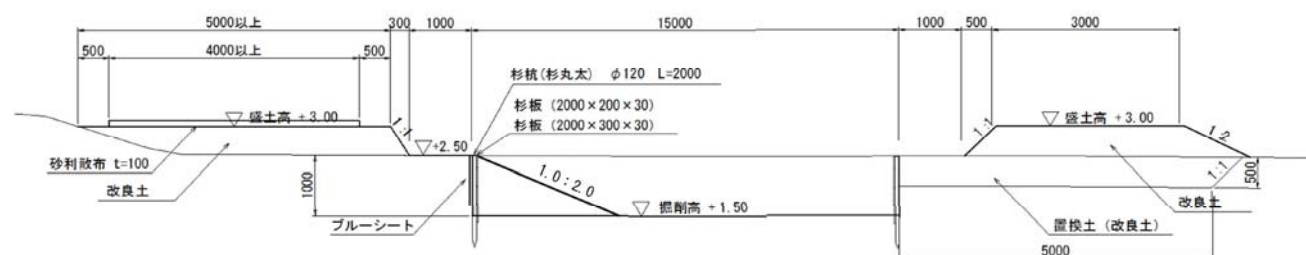
▲ 最大湛水深図（調整池完成後：W=1/100）

12

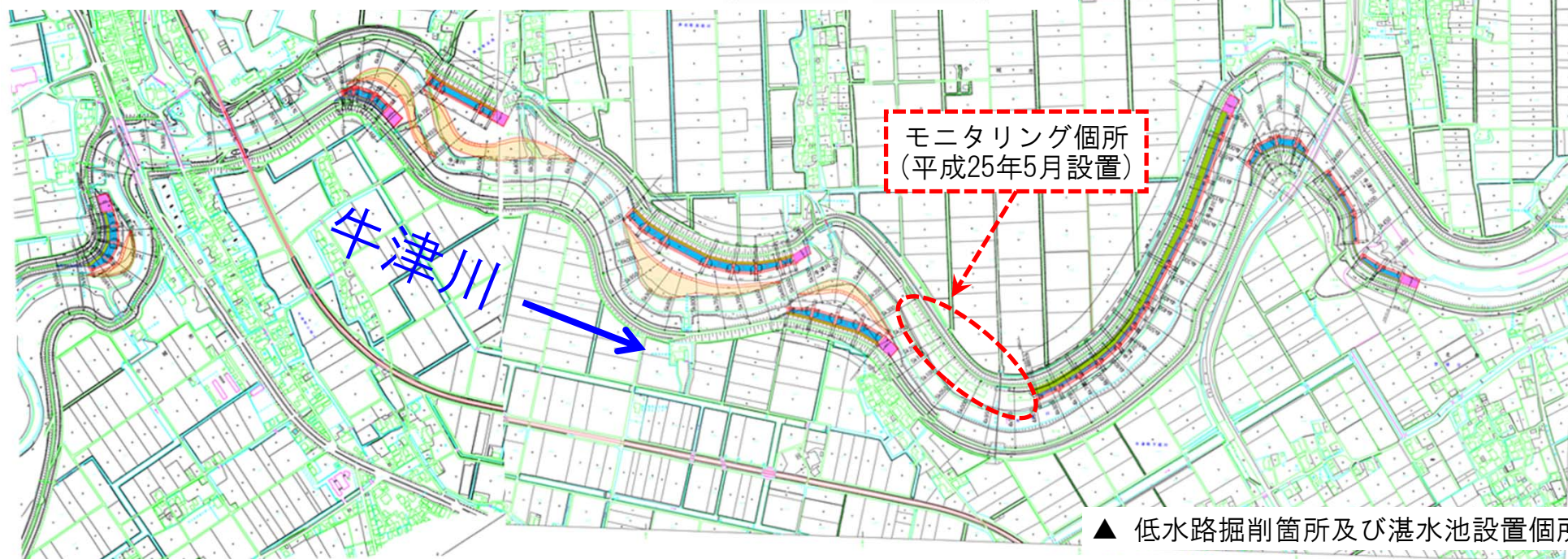
【河道掘削箇所】

- 牛津川（3k400～8k000）の河道掘削を実施して流下能力を向上させ、水位低減を図ることにより、既設の排水機場の機能を十分に発現させることで洪水被害を防止し、安全・安心を確保する。
- 掘削土量 約60,000m³

▼ 湛水池横断面図（案）



▲ 試験施工状況（湛水池）

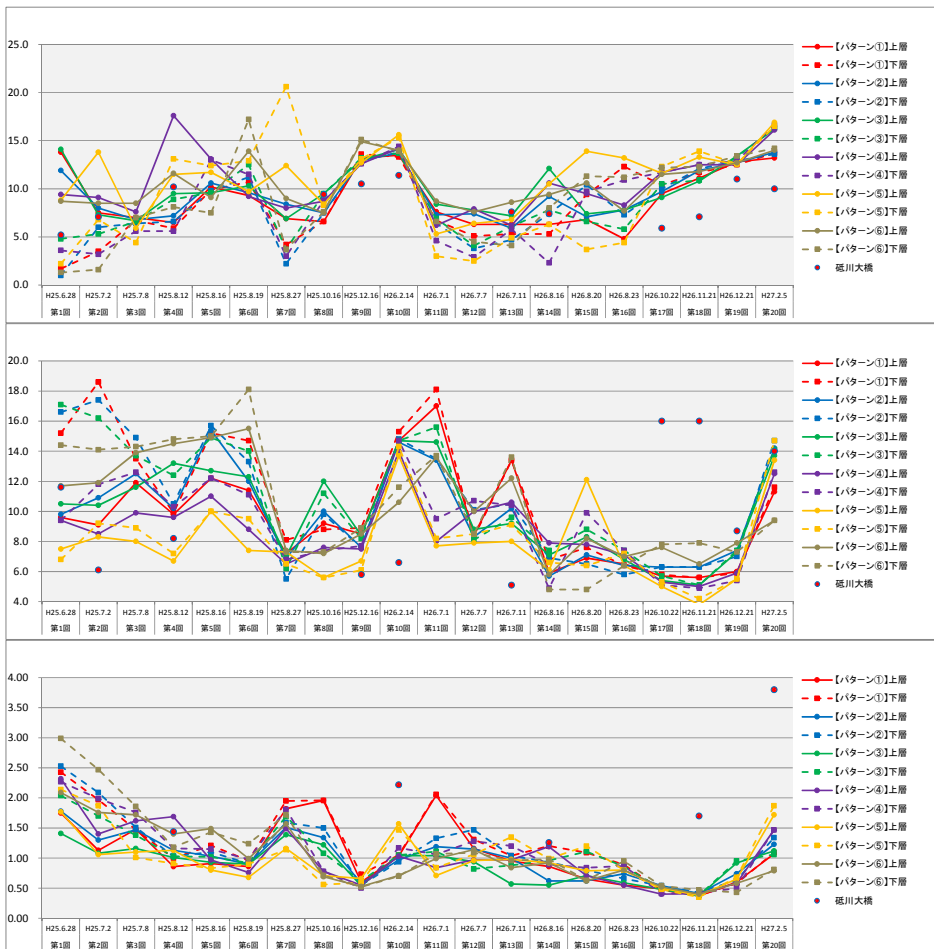


▲ 低水路掘削箇所及び湛水池設置箇所

【湛水池モニタリング（湛水池の水質・生物調査）】

- 水質調査…経時的な悪化傾向はなく、また、河川の調査結果と比較しても河川より水質が悪化している状況も見られません。（平成25年5月～平成27年2月、月1回実施）
- 生物調査…湛水池設置から1年後（平成26年7月）の調査では全42種が確認され、河川と比べハゼ類・エビ類が多く確認されており、これらの種の良好な生息場となっていると推測されます。

▼ 水質調査結果



▼ 生物確認種

- 平成26年7月、佐賀大学低平地沿岸海域研究センター山西教授のもと、生物の採取調査が実施されている。その結果、4つの湛水池において全42種、平均30種の生物が確認されている。
- 本川と比べてハゼ類（シモフリシマハゼ、アベハゼ、ハゼクチ）及びエビ類（シラタエビ）が多く、これらの種にとって良好な生息場となっていることが推察される。



湛水池内で採取した甲殻類の種および湿重量（2014年7月23日）

出典）「平成26年度九州河川技術懇談会話題提供
「河川環境域におけるガタ土堆積抑制と適正な植生管理に向けた実証実験」
佐賀大学低平地沿岸海域研究センター 山西博幸 平成27年1月23日(金)」